

Approved by Ministry of Education
(Date Apr. 26, 1946)

昭和廿一年四月廿六日印刷
昭和廿一年四月三十日發行
昭和廿一年五月一日翻刻印刷
昭和廿一年五月十八日翻刻發行
(昭和廿一年五月一日文部省檢査済)

師範地理 本科用 卷一

定價金壹圓

著作權所有 著作權者 文 部 省

東京都神田區錦町一丁目十六番地
翻刻發行所 師範學校教科書株式會社
代表者 森 下 松 衛

東京都牛込區山谷加賀町一丁目十二番地
印刷者 大日本印刷株式會社
代表者 佐久間長吉郎

東京都神田區錦町一丁目十六番地
發行所 師範學校教科書株式會社

暫 定

師範地理

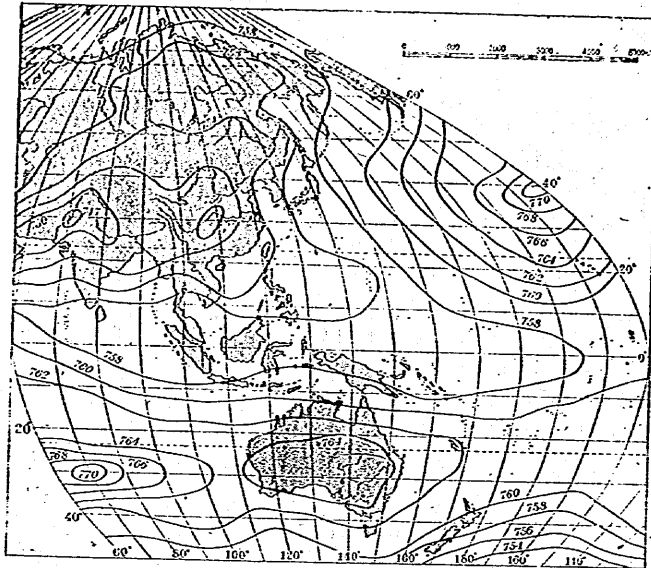
本科用

卷 一

(第二級)



文 部 省

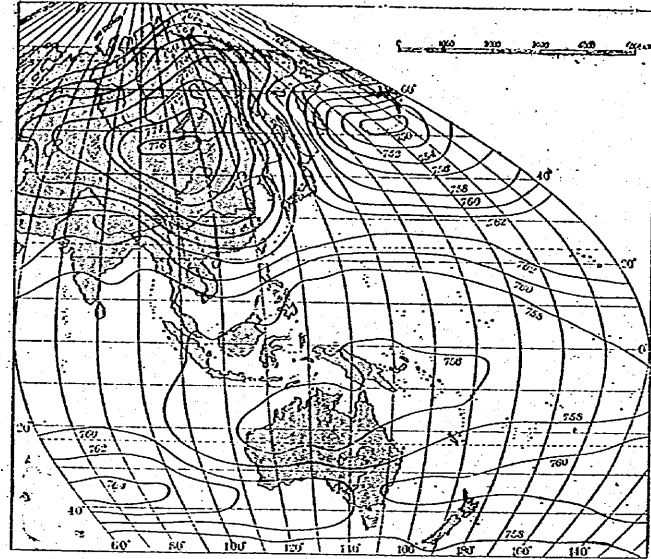


第10圖 東亞7月の気圧(mm)

ヤ南麓は夏の季節風に基づく山岳性降雨の多い所として有名である。

このやうに夏季多雨の傾向は、印度より印度支那・比島西部・中國本部・蒙古・滿洲を経て、東シベリアに至る廣大な範圍に認められ、東亞の大部分に共通する顯著な特色である。尤も我が國を中心とし、沿海州よりカムチャッカに至る沿岸、及び比島東岸は夏多雨なると共に、冬も相當の雨雪があつて、夏の多雨に對する冬の寡雨の對照がそれほど著しくない。

多雨の夏は農作物の生育期に當つてゐるから、人文上の効果は大きい。特に東亞は灌漑を不可缺とする米作を以て農業の根幹としてゐるから、夏に於ける多雨の傾向は更に大きな意味を持つことにな



第11圖 東亞1月の気圧(mm)

る。

冬の季節風 冬の季節風は東亞全域に互つて夏と反對の風向を示す。太平洋方面の季節風は、東シベリアの高壓部より一方はアレット低壓部へ向かひ、一方はまづ南洋方面の低壓部へ向かひ、更に赤道を越えて濠洲内陸の低壓部へ向かふ。東シベリアの高壓部は極めて優勢で、大陸と大洋との間の氣壓傾度は大きいから、季節風の風速も大で、日本海より東支那海を経て南支那海に至る海面は風浪が高くなる。しかも大陸内部より吹き出る風であるから、極めて寒冷且つ乾燥してをり、その結果、東亞の溫園は世界の他の同緯度の地に比して遙かに低温となり、且つ東亞各地の冬は一般に乾季となる。し

かし冬の季節風も、一旦海上を吹き渡ると、變質して濕潤な風となる。冬に於ける樺太・北海道より本州の日本海沿岸の多雪、臺灣・北ルソン・北ボルネオ・安南の一部の多雨はこのやうな季節風に基づく山岳性降雨によつて生ずるのである。

シベリア高壓部よりアレット低壓部へ向かふ風系は、本州以北を勢力圏とし、風向は北西である。南方の低壓部へ向かふ風系は、中國では朔風として北または北西であるが、東支那海以南では次第に轉向して北東風となり、貿易風の方向と一致する。この風は南方へ赴くに從つて弱まるが、なほ赤道を越え、再び轉向して北西風となり、東印度諸島より濠洲内陸の低壓部へ向かつて吹き込む。印度に

第1表 地球上の各緯度の平均気温

緯度	北 半 球			南 半 球		
	全 年	1 月	7 月	全 年	1 月	7 月
0	25.9	26.2	25.5	25.9	26.2	25.5
5	26.1	26.2	26.1	25.5	26.1	24.9
10	26.4	25.7	26.7	25.0	25.9	24.0
15	26.3	23.9	27.9	24.2	25.7	22.6
20	25.6	21.7	28.1	22.7	25.5	20.5
25	23.7	18.4	28.0	20.9	24.7	18.1
30	20.8	13.9	27.4	18.5	22.9	15.3
35	17.1	8.8	25.8	15.2	19.3	12.4
40	14.0	3.9	23.8	11.8	16.1	9.7
45	9.6	-2.3	20.8	8.9	12.5	6.7
50	5.6	-7.2	18.8	5.9	8.1	3.2
55	2.3	-10.9	15.7	3.2	4.6	-0.6
60	-0.8	-16.0	14.1	—	—	—
65	-4.3	-22.5	12.2	—	—	—
70	-9.9	-25.5	7.3	—	—	—
75	-13.3	-29.1	4.0	—	—	—
80	-16.5	-32.0	2.0	—	—	—
90	-20.0	-35.0	0.0	—	—	—

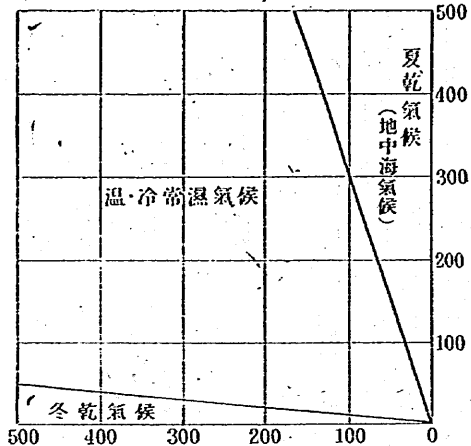
於ても風向は北東であるが、冬の季節風は乾燥した清涼な風で、風速も夏ほど強くなく、印度洋の風浪を高からしめるといふやうなことはない。

このやうに夏と冬の季節風の強さは、太平洋方面と印度洋方面とでは相反する。また東印度諸島より濠洲にかけての熱帯の季節風は夏冬共に著しくない。しかし何れにしても、東亞ほど大陸と海洋との間に於ける氣流の季節的交替が顯著で、且つ廣大な範圍に互り、しかもその影響が單に氣候上のみならず、人間生活の上にて深く及んでゐる所は他にない。従來季節風地方なる名稱によつて、東亞の季節風の影響の下にある諸地域が一括され來つたのも故なしとしない。

北米大西洋岸の溫帯は、大陸と海洋との關係が東亞とよく似てゐるが、大陸がアジヤほど大きくないために、季節風もさほど著しくはなく、從つて夏と冬の降水・濕度・雲量の相違も東亞ほど明かでない。なほ季節風はギニア灣北岸にも認められるが、もとより大規模のものではない。故に東亞溫帯季節風地方は、世界の他の地に比類ない地方であるといふことができる。

自然條件

氣候 溫帯季節風地方は大陸の東側に位し、緯度 35° を中心として 30° より 42° 位まで及んでゐる。最も代表的な所は、東亞に於ては本州・四國・九州より南鮮・揚子江流域にかけての地方であり、北米に於てはニューイングランド南部より北カロライナにかけての大西洋沿岸である。尤も東亞以外の地方は季節風が顯著でないから、夏と冬の濕乾の差も著しくはない。またハンガリア平野の如く、氣温の點では溫帯季節風地方と同様であるが、降水量が少く年 700



冬乾気候の冬の最多雨月の降水量または夏乾気候の夏の最多雨月の降水量 (mm)

第12図 降水量の季節的配分に基づく温・冷帯の区分

mm 以下で、初夏に多雨の傾向を示し、準季節風地方とも稱すべき所がある。この地域は原始状態に於て草地をなしてゐたが、農業に對する條件は温帯季節風地方と大差がないから、便宜上ここに一括して取扱ふ。

温帯季節風気候は四季を明瞭に區分することができるのを特徴とする。夏は高温多湿多雨で、冬は一般に降雨・降雪が少く、また著しく寒冷ではないので、土地・陸水の凍結や長期に亘る積雪は稀である。さうしてこれらの間に明瞭な春と秋とがある。

夏の状態はほぼ熱帯に匹敵する。一般に最暖月(我が本土は8月、他は一般に7月)の気温は 22° 以上であるが、代表的地域は 25° 以上に達し、日中最高気温は 32° 以上に昇ることが多く、日出時の最低気温も 22° 以下に降らない。湿度も高く、一般に 80% 以上である

第2表 温帯季節風地方各地の気候表(本邦)

地名		月												年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
鹿兒島 海拔25.4m 北緯31°34'	気温(C)	6.7	7.4	10.4	15.2	18.9	22.4	26.4	26.9	24.1	18.8	13.5	8.7	16.6
	降水量(mm)	75	108	155	213	197	419	300	185	214	130	89	79	2164
	湿度	74	74	74	76	77	83	81	80	80	76	77	77	77
高知 42.1m 北緯33°33'	気温	5.2	6.1	9.2	14.1	18.2	21.6	25.4	26.0	23.2	17.7	12.3	7.4	15.6
	降水量	69	104	179	247	256	326	300	344	389	202	109	74	2599
	湿度	68	67	68	73	77	84	85	83	82	76	75	71	76
名古屋 52.4m 北緯35°10'	気温	2.8	3.7	6.7	12.8	17.3	21.4	25.8	26.5	22.6	16.4	10.6	5.3	14.8
	降水量	53	74	103	149	148	197	167	165	228	168	87	56	1595
	湿度	74	71	69	72	74	78	79	79	81	79	76	76	76
金澤 29.5m 北緯36°32'	気温	2.4	2.3	5.1	10.9	15.7	20.1	24.5	25.7	21.5	15.5	10.2	5.2	13.3
	降水量	269	197	173	161	123	168	204	147	238	222	275	332	2506
	湿度	77	76	72	71	73	78	80	79	80	78	76	77	76
水戸 31.5m 北緯36°23'	気温	1.8	2.6	5.4	11.1	15.2	19.0	23.2	24.6	21.0	15.2	9.6	4.1	12.7
	降水量	47	73	103	128	149	162	134	152	207	185	93	50	1483
	湿度	68	69	70	75	79	84	85	85	86	83	78	74	78
富古 45.8m 北緯38°33'	気温	-0.8	-0.4	2.4	8.2	12.3	16.0	20.4	22.4	18.6	12.8	7.3	1.9	10.1
	降水量	63	79	80	97	100	114	120	172	211	151	78	49	1314
	湿度	68	70	69	70	77	85	87	87	86	83	74	69	77
青森 5.3 m 北緯40°49'	気温	-2.7	-2.3	0.5	6.8	11.8	16.3	20.9	22.9	18.5	12.1	5.9	-0.1	9.2
	降水量	153	100	88	68	74	80	124	113	137	120	153	163	1382
	湿度	81	80	75	72	75	80	83	83	81	75	77	79	78

から著熱を感じる。夏は降水量が多いが、それは或は温帯性低気圧に、或は熱帯性低気圧（東風の颱風）に起因するものであるから、降雨の形式は時によつて異なる。何れにしても作物の生育期に高温多湿であることは、農業上極めて有利であり、棉花や米の如き亞熱帯性の作物の栽培も可能である。

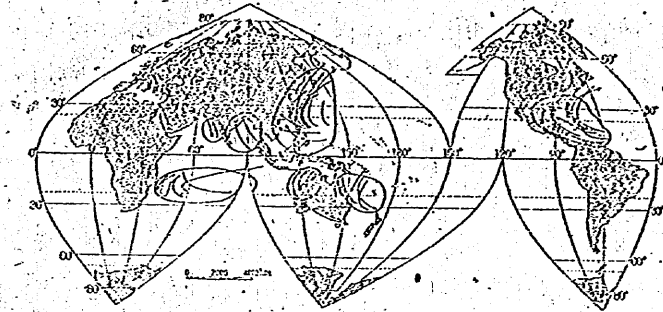
冬は一般に冷涼・寡雨であるが、著しく低温になることはない。最寒月平均気温は 8° より -3° に至る。降水は南部では多くは雨として、時に雪として降るが、北部に赴くに従つて降雪が主となる。しかし根雪は著しくない。我が日本海沿岸の如く、冬の季節風が海上で湿润風に變質して吹きつける所では、気温は比較的高い（金澤1月 2.4° ）にも拘らず、夥しい降雪・積雪を見るが、これはむしろ例外である。結霜期間は南部はほぼ11月半ばより4月中旬頃までの5ヶ月

第3表 我が國各地に於ける初霜・終霜の時期

		初 霜		終 霜	
		平 均	最 早	平 均	最 晩
福 岡		11月11日	明治36年10月21日	1月20日	大正2年5月11日
東 京		11 12	昭和12年10月21日	4 8	大正15年5月16日
青 森		10 23	明治33年10月1日	5 5	大正8年5月27日

間、北部は10月末より5月初までの6ヶ月餘であるから、無霜期間は比較的長い。

また冬は一般に寡雨であるが、沿岸地方は屢々温帯性低気圧による降水があるから、夏と冬の相違は著しくない。北海道を除く我が國及び南鮮から揚子江三角洲地方はこれに當る。しかし内陸の揚子江沿岸地域になると、季節風地方の特色が顕著となつて、冬寡雨の傾向が強くなる。但しこの期間は低温で、蒸發が著しくないから、



第13圖 世界に於ける熱帯性低気圧の経路と襲はれる範圍

植物・農作物に對してあまり悪い影響はない。季節の推移は比較的漸を以てし、急激ではない。さうして春と秋とが夏や冬と共に明瞭な季節をなしてゐる。終霜・初霜は春秋の期間内に現れる。

要するに氣候のみに就ていへば、人間生活にとつて最も恵まれた所である。即ち四季の變化は精神に適當の刺激を與へてその弛緩から免れしめ、夏に多い適度の降水は、米作のための灌漑を容易ならしめる一方、米作以外の農業に對しては灌漑を必要とせしめず、酷寒ならざる冬はまたこの期間の農耕をも可能ならしめてゐる。事實、農耕はこの地方の北縁を除けば一年を通じて可能である。内地に例をとれば、奥羽南部に於て既に水田の裏作として冬小麦の栽培が行はれ、裏作の割合は南するに従つて大きくなり、高知平野の一部等では米の二期作すら行はれてゐるほどである。

土壤・植生 冬の気温の低下が著しくないから、風化作用の休止期はなく、且つ降水量も十分あつて、雨水は地下水面に達する途次に漂白と溶脱作用を營む。しかしこれらの作用は熱帯ほど旺盛でないから、表面に腐植の堆積が可能であり、また地中微生物・ミミズ・蟻

等の生物の助けによつて腐植はその下の土壌と混合する。しかし漂白作用の進行に較べれば、腐植の形成は一般に遅いから、成熟残積土は腐植少く、鎧物質の營養素たる石灰・硝石・磷酸等の少い黄色または褐色の土壌となり、肥沃とはいひ難い。むしろ新鮮な堆積物より成る沖積平野の土壌の方が肥沃である。

東亞の温帯に於て、大部分の農民が狭い沖積平野に集中して極度の集約農業を営んでゐるに對し、十分に畑地となし得る隣接の低い臺地や緩斜面の利用が比較的進んでゐないのは、米作に執著する傳統によつて、灌漑可能地をまづ選擇するといふ傾向が顯著なためではあらうが、臺地や傾斜地の残積土が肥沃でないといふことも併せ考へる必要がある。しかし年降水量の少い草原地の土壌は、森林地に比して腐植も鎧物性營養素も多く、酸性度も劣つて比較的肥沃度が高い。パンパや歐洲内陸の諸盆地・平野等の盛な農牧業は氣候のみならず、かかる恵まれた土壌條件によるところが大きい。

森林は自然の状態に於ては潤葉樹を主とし、砂丘・臺地等の地味の悪い所には針葉樹林が島嶼状に入り込んでゐる。我が國では潤葉樹としてはクヤキ・エノキ・カヘデ等、針葉樹としてはマツ・スギ・ヒノキ等があり、南部にはソテツ・カシ・シヒ・クスノキ等、北部にはナラ・シラカンパ・ブナ等があり、これに竹類も混じる。しかし東亞の低地は既に農耕地となり、これに接する山地も森林の伐採が進んでゐるから、原始林の面影はない。一方南米のパンパや北米のプレーリーの如く、開發は新しく、氣候的には明かに森林地域に入るべきにも拘らず、草原となつてゐる所も多い。

人間生活

温帯季節風氣候並びにそれと類似の氣候の地域は、以上述べたや

うに自然條件は何れもほぼ一樣であるにも拘らず、民族性・文化の性質及び發達段階の相違によつて、各地互に異つた状態を呈してゐる。いまその主なるものを挙げれば、次の如くである。

1) 東亞 2) 北米 3) その他(温帯發育地方)

東亞 東亞の温帯季節風地方は我が本州・四國・九州より南鮮・華中に跨る地方である。従つて東亞の最も中樞的な地位を占める所である。元來は潤葉樹林の地帯であるが、數千年に亘る土地開發の結果、低地は餘す所なく農耕地となつてゐる。この地方は山地・丘陵地が多く、しかも農耕は灌漑を要する水田耕作を主とするから、耕地は自ら狭い平野に局限され、東洋農業の特色たる極端な適地主義を遺憾なく發揮してゐる。従つて農耕地の割合は極めて小さく、我が國の如きは15%に過ぎない。しかも一方人口は極めて多く、我が國・南鮮を通じて800萬人、中華に約2億人、合計3億人近くであるから、平野の農村人口密度は極めて高く、我が國や揚子江沿岸では、400人以上の所も少くない。従つて一戸當りの耕地面積も、地割された一枚の耕地面積も小さいから、極端に集約的に営まれ、畜力・機械力に依存する餘地が少く、一部に於ては水牛・馬等の畜力を利用する所もあるが、人力による場合が多い。

水田を主とする耕地の利用は能率的に行はれ、水稻の裏作としての小麦の栽培は、本州の關東以南より揚子江流域にかけて到る所に行はれてゐる。農業は自給的色彩が濃厚で、他地方への作物の移出はあまりないが、更に地方別に見ると、或は東北・北陸の如き、或は湖廣平野の如き、米が自給作物であると共に主要商品作物である地方もある。

その他の主要作物は多くは夏の高溫を利用して栽培され、且つ商

品的意義を有するものであつて、中でも桑の栽培と蠶の育成との組合はせによる養蠶業は、米作と密に結合して最も重要な副業となり、所によつてはむしろ主業ともなつてゐる。その他、茶・棉・柑橘類等の熱帯・亞熱帯性の作物もこの地方に浸潤してゐる。また世界の他の地方と同じく、大都市の附近には近郊農業が営まれる。



第14圖 揚子江沿岸各地の水位變化

揚子江流域では、夏の多雨と冬の寡雨との對照が著しいから、一年を通じての河川の水位の變化が甚だしい。即ち、夏

は海洋航路の巨船が 1000km 上流の漢口まで溯航できるが、冬は 2000 噸級の船舶のみ溯航し得るに過ぎない。また夏に最も多い雨は往々にして洪水を齎し、沿岸の人口稠密な低地に氾濫して大きな災害を起す。

北米 北米東部の温帯地方は東亞の沿岸と極めて類似の自然條件を有する。その氣温に就て見るに、ボストンはほぼ青森に、ニューヨークは仙臺に、リッチモンドは東京に、チャールストンは鹿兒島に、フロリダは臺灣に相當する。かく氣温が類似するばかりでなく、東亞の颱風と同様の熱帯性低氣壓たるハリケーンも、同様の時期に同型の経路を描いてこの地方を襲ふ。洋上には東亞の黒潮に相當するメキシコ灣流があつて、夏の氣候を濕潤にしてゐる。異なるところは季節風が東亞ほど明瞭でないこと、降水量が全般的にやや少く、また冬の乾季が目立たないこと、梅雨の現象がなく、従つて7月の平均氣温が8月より高いこと等である。森林も殆ど同様で、混

第4表 温帯季節風地方各地の氣候表

地名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
上海 海抜11.7m 北緯30°15'	氣温	3.5	4.4	8.4	13.7	19.0	23.1	27.5	27.0	23.3	18.1	12.4	6.8	15.7
	降水量	48	68	68	90	99	132	131	138	177	42	49	48	1140
	湿度	76	78	76	78	80	83	82	81	80	74	75	76	78
漢口 39.1 m 北緯30°35'	氣温	3.7	5.5	10.5	16.3	22.0	25.7	28.8	28.8	24.0	18.4	12.1	6.1	16.8
	降水量	39	50	85	131	147	215	173	111	62	67	52	31	1163
	湿度	75	77	75	77	75	78	77	74	73	73	74	75	75
重慶 230.1 m 北緯29°33'	氣温	8.0	9.7	14.5	19.2	22.7	24.9	28.4	28.9	23.8	18.9	14.6	10.6	18.7
	降水量	18	20	37	100	146	178	133	129	130	111	49	22	1099
	湿度	83	85	84	83	87	86	81	80	85	88	90	88	85
ニューヨーク 95.7 m 北緯49°43'	氣温	0.1	-0.7	4.3	9.7	15.7	20.5	23.5	22.5	19.5	13.6	7.2	1.4	11.4
	降水量	79	87	99	87	82	89	104	109	86	91	62	86	1052
	湿度	71	69	69	67	69	73	74	76	77	73	72	72	72
ワシントン 34.1 m 北緯38°54'	氣温	1.8	1.8	6.9	12.3	18.0	22.3	25.1	23.8	20.8	14.3	8.1	2.7	13.2
	降水量	86	68	87	87	83	107	111	114	91	70	57	83	1047
	湿度	73	69	70	66	70	73	74	78	80	79	75	71	73
ブクベスト 129.6 m 北緯47°31'	氣温	-0.4	1.2	5.8	10.8	16.6	19.6	21.9	20.9	16.6	11.3	5.3	1.0	10.9
	降水量	35	33	41	54	67	64	49	50	43	53	55	47	591
	湿度	82	77	70	65	65	61	61	64	70	76	81	83	71
ミラノ 147.1 m 北緯45°28'	氣温	1.5	4.1	8.5	13.2	17.8	22.0	24.7	23.7	19.6	13.4	7.0	3.1	13.2
	降水量	59	60	84	94	101	83	67	71	83	119	104	80	1005
	湿度	79	76	68	63	62	59	57	60	68	77	81	83	69

葉樹が多く、カン・クルミ・ウヘデ・マユミ・カンパ・カンハ等は秋に紅葉する。實に紅葉の最も美しいのは、世界に於て東亞と北米の温帯北都とである。

この地の人間生活はこれを二つの段階に分つことができる。第一の段階は歐人の到達に至るまでで、原住民たるインディアンは主として森林中に狩獵及び陸水漁撈と、それに附隨する燒畑式の移動農墾を營んでゐた。従つて、土地利用は極度に粗放的で、文化段階も低く、殆ど同一の自然環境の下にある他の地域が同時代に於て世界文化の指導的地位にあつたのと著しい對照を示してゐた。

第二の段階は、かかる地域に英系を主とし、それに蘭・獨等の北歐のヨーロッパ諸民族が到來したことに始る。英系のものは、ニューイングランドに自給的農業植民地を樹立する一方、ヴァージニアに農園農業による商品作物の生産を主とする植民地を建設し、間の地帯には英・蘭・獨等の各民族の植民地が開かれた。彼等の土地開發はその民族性を反映して東亞のそれとは異つた様相を示した。即ち、自給農業を主とする所では小麦その他の自家用穀物と果實の栽培、並びに牛等を主とする家畜の飼育が行はれた。一方南部の農園に於ては煙草・藍・米等の栽培が行はれた。

しかるに、輸出品の大宗たる煙草は他の競争産地の勃興によつて押され、藍も米國獨立後の助成金の杜絶と印度藍の出現とによつて衰頹し、代つて産業革命後の棉花の需要に應へて、棉花の栽培を主とする農業が、カロライナ州以南の地域に於ける支配的な經濟基礎となつた。また、ワシントン以北東の地はニューヨークを始めとして多くの大都市が勃興し、周囲の地は近郊農業地に変貌した。

しかるにニューイングランドに於ては、米國中部の開發に基づき、

米國農業の自給體制よりの脱却、適地適作主義の確立により、200年に亙るその自給農業は崩壊に向かひ、農村人口は減少した。しかし、繊維工業及び各種精密工業の中心地として勃興した都市は多数に上るから、ニューイングランド全體として衰頹に向かつたわけではなかつた。

温帯穀倉地方 この地方は、氣温の状態は純粹の季節風地方と類似してゐるが、乾燥圏に近く、年降水量が700mm以下で、一般に草原となつてゐる地方である。しかし森林の繁茂が許されないのではなく、植林をすれば立派に育ち、また河畔の低濕地等にはヤナギの類が繁茂してゐる。草原を構成する草は、乾草原の草と異つて丈が高く、根は深く地中に入り、また植物の根に吸収される懸遊水の層は地下水面にまで達してゐる。

かかる地が草原となつてゐる理由は必ずしも明かではないが、山火で焼かれた後の状態を示すものであるといふ説が有力である。何れにしても森林繁茂の條件が更に濕潤な地方よりよくないことだけは確實である。南米のパンパ・北米のプレーリー・歐洲のハンガリア・ソラキア等の平野はこれに屬し、濠洲南東部もこれに近い。

氣候條件が天水畑作に適することはいふまでもなく、土壤はもつと濕潤な地方に比して肥沃である。即ち漂白作用は弱く、腐植の供給は多く、黒色のプレーリー土壤が卓越する。しかし、かかる草原の開拓は幼稚な農業技術を以てしては困難であるから、新世界の草原は原始状態のまま永く放置され、僅かに狩獵地として利用されてゐたに過ぎない。歐洲からの移民でさへ新世界の草原地に對しては、よき農耕地は森林地に一致するといふ通念から、最初のうちはその發展を躊躇したほどであつた。しかしプレーリーは南北戦争以後、パ

ンバは更に20年後に開發の緒についた。

今日これらの地方は例外なく世界の穀倉として、また肉類の供給地として重要な意義を持つやうになつたが、その開發を促した動機としては、人口の急増によつて食糧の需要の増加したこと、輸送機關の進歩によつて食糧品を遠隔地に運搬し得るやうになつたこと、農具の進歩によつて草地の開發が容易となり、大農法の適用によつて生産が能率化されたこと等を擧げることができる。

ブレイ・バンバの兩草原地共、主要作物は玉蜀黍で、小麥・燕麥・牧草類と混作される。玉蜀黍は一般に牛・豚・馬等の家畜の飼料に當てられ、従つてこの地方は同時に牛豚地方ともなり、農民は家畜を通して収益を擧げる。即ち主畜農業の型式をとつてゐるのである。またバンバは羊の大牧場でもあり、その羊毛と肉とは牛肉・小麥等と共に主としてヨーロッパへ向け輸出されてゐた。ハンガリア・ワラキア等が歐洲に於ける穀倉であることはいふまでもない。濠洲南東部のこの地方も玉蜀黍の産地であり、重要な牛の飼育地である。

このやうに世界各地に散在するこの地方はほぼ同一の自然的基礎を有しながら、その人間活動は民族性・文化の性質・發達段階等を反映して、少からず異なる様相を展開してゐるのである。

二 亞熱圈季節風地方

自然條件

氣候 この地方は溫圈季節風地方の南に隣り、熱帯との漸移圏である。緯度20°乃至30°の間に跨り、冬が短く、且つ比較的高温である。最寒月平均気温5°並びに平均気温22°以上に達する月が4ヶ月の線を以て溫圈季節風地方との境とし、最寒月平均気温18°の

第5表 亞熱圈季節風地方各地の氣候表

地名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
		氣温	降水量	氣温	降水量	氣温	降水量	氣温	降水量	氣温	降水量	氣温	降水量	
名 湖 4.4m 北緯28°23'	氣温	14.2	14.2	16.2	19.3	21.9	25.2	27.6	27.0	26.1	22.8	19.3	16.1	20.9
	降水量	197	199	224	241	338	410	249	314	270	285	221	163	311
	湿度	73	73	73	76	78	83	79	80	80	76	73	71	76
厦 門 4.9m 北緯24°20'	氣温	14.3	13.6	15.9	19.7	24.8	27.3	29.6	29.4	28.2	25.1	21.2	17.5	22.2
	降水量	34	74	94	133	158	179	137	165	110	42	32	34	1192
	湿度	83	84	77	84	81	85	79	79	72	63	68	75	77
廣 東 8.8m 北緯23°0'	氣温	13.6	13.7	17.3	21.7	26.5	27.8	28.9	29.1	27.9	23.8	19.9	16.5	22.2
	降水量	45	73	97	159	260	265	272	254	136	58	45	37	1701
	湿度	76	83	81	85	81	83	80	78	79	68	69	75	78
アラハバード 94.0m 北緯25°28'	氣温	16.3	18.7	24.9	30.7	33.9	33.7	30.2	29.1	29.1	26.3	20.8	16.5	25.8
	降水量	19	14	10	4	8	119	305	279	161	59	7	5	990
	湿度													
ブリスベン 33.0m 南緯27°28'	氣温	25.1	24.7	23.5	21.3	18.1	15.7	14.7	15.8	18.5	21.0	23.1	24.7	20.5
	降水量	159	157	141	91	72	67	59	54	52	65	93	123	1138
	湿度	65	69	72	71	74	75	73	71	65	61	59	61	68
チャールストン 14.5m 北緯32°47'	氣温	10.3	10.7	14.2	18.1	22.6	25.9	27.3	27.2	25.2	19.9	14.4	10.8	18.8
	降水量	63	78	71	57	76	98	148	159	111	72	44	6	1017
	湿度	81	79	77	74	75	76	78	81	82	80	78	80	78
ニューオーリンズ 16.2m 北緯29°57'	氣温	12.6	13.8	17.1	20.5	23.9	27.2	27.9	28.1	26.6	21.9	16.8	13.2	20.8
	降水量	113	109	131	139	139	129	174	158	140	96	83	128	1538
	湿度	83	82	82	81	81	79	82	83	82	80	81	83	82

等温線を以て熱帯との境とする時は、前者は熱帯性の椰子その他の植物の種子が漂着して沿岸に自然と生育し得る限界とも一致し、後者は熱帯林と温帯林との境界にほぼ一致する。但し印度・南米等に於ては温帯に熱帯林が侵入してゐる。亞熱帯季節風地方に属する地域は、東亞に於ては沖繩・臺灣・華南・印度北部の平野、濠洲に於てはクインスランドの沿岸地帯等、北米に於ては棉花地帯よりフロリダ半島までである。

夏は著しく高温湿潤で、晝間の時間が熱帯より長いから、1日の日射量も多く、平均気温も最低気温も赤道直下の地より却つて高く、體感的にも凌ぎ難い。冬は温暖で、温帯中部の常住者にとつては冬衣の要がないほどであるが、滞留2、3年にしてその必要を感じるやうになる。霜は極めて稀で、海洋性氣候の沖繩では結霜は殆どないが、多少大陸性氣候を呈する臺灣・關浙等では時々結霜を見る。降雨は夏多雨の傾向が顯著で、東亞に於ては特に冬の乾燥が著しく、夏の最多雨月の降水量が冬の最少雨月の10倍以上ある所が多い。しかし冬の北東季節風に直面する臺灣北東部は冬多雨で、海洋性氣候の沖繩も冬の乾燥は著しくない。また北米に於ても冬の乾燥は東亞ほどではない。

夏に頻發する熱帯性低氣壓は亞熱帯地方に於て十分に發達し、その回数も多いから甚大な災害を興へる。また東亞東部では、冬は季節風が強く且つ連続的であるから、東支那海より南支那海にかけては風浪が激しく、小船舶の航行が困難であることが多い。しかし印度の冬の季節風は乾燥せる清凉なる風であるから、この期間の氣候は快適である。

土壌・植生 土壌・植生共に熱帯と温帯との遷移型を示す。純粹の

温帯地方に較べると、化學的風化作用や漂白作用は盛であるから、殘積土の肥沃度は劣る。代表的の土壌は赤色土であるが、所によつては熱帯に特有な土壌たるラテライトもある。故にこの地方の土壌のうち、最も肥沃なのは未成熟な沖積土で、このことがこの地方の耕地が狭い河岸・河口の平野に集中してゐる一因をなしてゐる。

森林は熱帯半落葉樹林と温帯潤葉樹林の混淆する喬木林で、優占種は冬の冷氣に對する抵抗性の強い硬くて光澤のある葉を持つ常綠潤葉樹である。しかして低緯度に越くほど熱帯性となり、榕樹・椰子その他の熱帯性植物と共に、クスノキ・シロツグ等のこの地方に特に卓越するものがある。また森林には籐木・着性植物が豊富で、林床植物には半菌類が多い。山腹斜面にはスギ・ヒノキ等が繁茂するが、これらは生長が極めてよく巨木になる。阿里山のベニヒノキの如きは有名である。

人間生活

東亞 東亞のこの地方は北に隣る温帯季節風地方と同様、水田耕作を主とするが、耕地が狭い沖積地に集中する傾向は更に強く、米は年2回の收穫が可能である。農村の人口過剰の傾向は一般に著しく、海外に新天地を求めて活躍するものが多い。500 万以上と算せられる南洋華僑は主として閩粵出身で、原住民と指導層との中間層を構成し、その地の商權を掌握して強固なる社會的地盤を築き上げてゐる。その同族的團結は強固で、故郷との連絡は密なるものがあり、送金も多額に上つてゐる。

米以外の作物は、純温帯と異つて熱帯性のものが多い。柑橘類・荔枝・茶の栽培等各種の亞熱帯性樹木農業や、バナナ・パイナップル等の果實類の栽培が行はれるが、純熱帯氣候の下に於てのみ有利に

栽培し得るゴムは見られない。また乾季と雨季との明瞭な熱帯に特に多い甘蔗の如きも本地方に栽培されてゐる。これらは何れも商品作物で、世界經濟の消長に影響されることが大きい。椰子は自生するが結實するまでには至らない。

印度に於てはガンデス河流域の平野がこの地に相當し、印度の中樞部をなしてゐる。穀類としては下流域の米、上流域の小麥を主とし、その他下流域の黄麻、中流域の阿片、上流域の長纖維棉花等は代表的の作物で、ヒマラヤ山麓のアッサム地方には茶の栽培も行はれてゐる。

濠洲のクインスランドには甘蔗・バナナ等の栽培が行はれてゐるが、亞熱帯に於ける墾人勞働者による甘蔗の栽培は世界の中でこのみに限られてゐる。

北米 北米東側の亞熱帯地方は明瞭な季節風を缺き、冬と夏との降水量の差も東亞ほど顯著ではない。所謂南部諸州の大部分はこれに入り、棉花地帯をその中核とする。棉花の栽培は農園農業として營まれる場合が多いから、この點零細な自給的米作農業を主とする東亞と著しい對照を示してゐる。棉花以外の作物も熱帯性のものが多く、ミシシッピ三角湖上の甘蔗栽培、各地沖積平野の米作等は温帯・冷帯を主體とする米國としては特色ある産物であるが、何れも大農的に行はれてゐることは棉花の場合と同様である。フロリダは柑橘類・パイナップル・葡萄等の果實の産地としてカリフォルニアに次ぎ、また米國北部の大都市に供給する早期蔬菜の栽培地として、或は避寒地として、その亞熱帯的特性は遺憾なく利用されてゐる。

三 海洋性西岸地方

自然條件

氣候 世界文化の一中心たる西歐・中歐を含むこの地方は、概ね大陸の西側に限られ、緯度 50° を中心として 40° より 60° 以上の高緯度にまで及んでゐる。その代表的地域は歐洲の北西部であり、またカナダ・アラスカの太平洋沿岸・チリ南部の他、ニュージーランドの大部分・タスマニア等もこれに屬する。

これらは何れも偏西風の影響の下にある地方であるから、著しく海洋性で、夏と冬との気温の變化が少いのを特徴とする。即ち夏は熱帯の状態となることなく、最暖月の平均気温は 10° ~ 22° 、緯度 50° の所で 17° 内外である。一方冬は緯度の割合に著しく温暖で、最寒月の平均気温も遙か低緯度に位する温帯季節風氣候の地方と同様で -3° 以上あり、緯度 50° の所では 0° 位である。夏の冷涼なことは體感的にはよいが、農業には不利で、玉蜀黍の如き亞熱帯性作物は生育が良好でない。小麥は内陸の多少大陸性の所に適し、草は牧草として理想的であり、また種々の點で酪農の好適地である。冬は温暖で、秋蒔作物の栽培も可能であるが、凍害もあるから、それに對して敏感な作物はできない。家畜は一年を通じて戶外飼ができ、大きな飼料倉庫は不要である。しかし冬は濕氣に富み、且つ陰曇であるから、體感的・心理的には快適でない。

降水は一年を通じて比較的平等に配分され、しかも安定してゐて、旱魃や洪水に悩むことが少いから、凶作の危険率は少い。降水は主として西方より莫ふ温帯性低氣壓に基づき、冬は多くは雪として降る。山の西側、即ち偏西風に直面する斜面は、降水量が特に多く、

第6表 海洋性西岸地方各地の気候表

地名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
シドニー 気候標 47.2m 南緯34°22'	気温	22.0	21.7	20.7	18.1	14.7	12.4	11.3	12.7	15.0	17.5	19.5	21.2	17.2
	降水量	93	113	129	139	131	130	122	80	73	81	72	71	1234
	湿度	70	72	75	77	78	78	77	74	69	68	67	67	73
ウェリントン 2.9m 南緯41°15'	気温	16.9	16.9	15.8	13.9	11.5	9.7	8.7	9.2	10.9	12.4	13.8	15.8	13.0
	降水量	81	81	84	97	121	124	141	112	101	106	87	84	1222
	湿度	77	75	79	78	79	81	82	81	72	76	76	78	78
シドカ 27.0m 北緯37°4'	気温	-0.1	1.2	2.5	5.2	8.1	10.7	12.7	13.1	10.9	7.7	3.4	1.9	6.4
	降水量	194	165	143	139	104	86	106	181	258	309	242	228	2155
	湿度	79	76	75	76	74	72	82	86	87	87	78	78	79
グッチハーバー 4.0m 北緯53°51'	気温	0.4	-0.3	0.8	2.2	4.8	7.8	10.7	11.4	8.9	5.5	2.1	0.6	4.6
	降水量	140	144	120	90	101	76	51	60	129	187	151	153	1402
	湿度	85	83	81	78	79	79	80	81	84	84	87	82	
ブレスト 61.0m 北緯48°23'	気温	7.0	7.1	8.0	9.9	12.0	15.0	17.2	17.3	15.7	12.8	9.4	8.1	11.7
	降水量	71	63	66	46	41	42	44	53	53	86	80	100	745
	湿度	85	83	81	78	79	79	80	81	84	84	87	82	
ベルリン 47.8m 北緯52°25'	気温	0.0	0.0	3.8	8.1	13.2	16.6	18.6	17.3	14.1	8.8	4.9	0.8	8.8
	降水量	48	34	25	49	48	67	88	62	45	65	60	30	609
	湿度	85	82	76	72	69	68	71	75	78	84	87	87	78
ベルゲン 44.4m 北緯60°24'	気温	1.9	1.7	2.8	5.6	9.3	12.2	14.4	13.7	11.2	7.5	4.3	2.6	7.3
	降水量	227	160	128	111	100	107	113	187	202	230	200	197	1862
	湿度	80	79	75	73	76	78	82	84	83	81	80	80	79

湿度・曇量又大きく、海洋性の傾向が著しいが、反対斜面は比較的大陸性となり、降水量は少く、湿度・曇量は共に小さく、日照時間が長い。

なほ西歐は海洋性西岸気候が最も廣大な範圍を占める所であつて、佛・英・諾の大西洋岸より獨・丁・南瑞典の低地に至る全域に亘つてゐる。それは他の諸大陸が何れも海岸の背後に南北方向の山脈を連ねて偏西風を遮るのに對し、歐洲に於てはかかる山脈はスカンデナヴィア半島に限られ、その上世界第一の暖流たる北大西洋海流の影響が偏西風に加つてゐるからである。しかし内陸に赴くに從つて大陸性となることは、ブレストとベルリンの気候表を比較すれば明かである。

また洪積世の水河時代には、この地方の山地に氷河が大規模に發達してゐて、その末端は海面下にまで達してゐたから、今日も山地は顯著な氷蝕形を示し、海岸はまた谷氷河の作った氷河渠に海水が侵入して生じた峡灣をなすものが多い。ニューゼーランド南島・アラスカ・カナダ・南チリ・ノールウェーの沿岸はその好例である。

土壤・植生 一般に低温であるから、化學的風化作用や漂白作用は盛でなく、しかも冬は凍作用共に働かないが、その代り水分の凍結による機械的風化作用が行はれる。成熟土は灰褐色土で、酸性低く、クルミ狀構造を呈し、有機物と可溶物に富み、森林帯の土壤としては最良といひ得るが、無肥で耕作を續ければ荒廢する。しかし肥料を與へればよく保ち、各種の作物に對して適應性に富む。また低湿地も多く、かかる地は泥炭地となつてゐる。洪積世の水河時代に内陸氷の堆積を蒙つた西歐や北米では、堆石が廣い面積に亘つて發達してゐる。故に土壤の性質は全般的には變化に富んでゐるといふこ

とができる。

植生は原始的の状態に於ては混生林が多く、その繁茂は良好である。歐洲に於ては現在は耕地・牧場となつてゐる所が多い。例へば佛國の如きは18%、英國に至つては1%が森林として残つてゐるのみである。その代表的の樹木はカシハ・菩提樹・カバ・ニレ等である。針葉樹は緯度60°以北の地と砂地に卓越する。また植生は地勢とも關係し、砂質の高燥地は草原に、低濕地は泥炭地と濕性の常緑灌木林となつてゐる所が多い。

北米のこの地方の森林は鬱蒼としてゐることを以て知られ、林床植物の繁茂も良好で、世界最良の軟材の供給地である。北カリフォルニア山中のレッドウツドの巨木、オレゴン・ワシントン山中のダグラスモミ、カナダ沿岸のトウヒや西部赤杉は何れも特色ある用材である。特にダグラスモミは直径1mより2m、高さ60mに達し、木材としての利用價值が大きい。しかもこの地方の森林は、北米にとつて最も將來性に富む森林資源であるが、その供給地が東亞に直面してゐて、北米の中樞部よりも東亞の中樞部に對して却つて運輸が便利であることは注目すべき事項の一つである。

南チリの森林もまた鬱蒼としてゐるが、ここは北米と異り、闊葉常緑樹が多く、硬材に富み、その林相は一見熱帯林を想はせる。ニュージーランド・タスマニア・濠洲の南東端の森林も南チリに似てゐる。

人間生活

以上挙げた諸地方は自然環境的には多くの共通點があるが、各、歴史的背景を異にしてゐるから、その現状には相當の相違が認められる。西歐の本地方は南に接する地中海地方について古い歴史的背

景を持ち、今日に至るまで歐洲の中心的地位を保つて來たのに對して、兩米及び濠洲に屬する本地方は今後の發展に俟つべき餘地が廣く残されてゐる。

西歐 直接自然と關聯せる人間生活としては、まづ農業を擧げなければならぬが、夏の冷涼なことは決してこの生業に對する好條件となつてゐない。むしろ家畜との組合はせによる有畜農業が本地方の基本型式となつてゐる。自給用食糧は小麦・馬鈴薯を主とするが、飼料用としては牧草類・燕麥・大麦・甜菜等で、都市の發達に基づく酪農の發展もこの地の自然に即した産業である。このやうに冷圏の農業と殆ど同一であるのは、夏の氣候條件がほぼ同様であるからである。大規模の放牧は人口稠密、土地利用の集約化せる本地方に適しないが、極度に人口の都市集中化の進んでゐる英國に於ては、かつての農耕地が牧場となり、肉用羊の放牧が行はれてゐる。

またこの地方の山地では冬には舍飼し、夏は高地牧場へ家畜を移動させる形式の牧畜が行はれる。南部・西部の溫暖な地方では地中海方面より入つた葡萄の栽培と葡萄酒の醸造が營まれる。しかしこれらの農産物は、産業革命以後の増大せる人口を養ふに足りず、また生産力を涵養する原料品を殆ど産せず、これらの多くは世界各地に跨る新興農業地域からの輸入に俟つ有様である。

北米 北米の太平洋沿岸は、氣候的には酪農が有利であり、事實またこれが行はれてはゐるものの、これらは既に東部の冷圏南部に大規模に發達してゐるから、獨占的地歩を占めることはできない。むしろ北米第一ともいふべきその豊富なる森林資源と、太平洋沿岸・河川の漁業にその特色ある産業型式が見出されるのである。またこの地の港市は大陸横斷鐵道によつて東部と連絡してをり、こ

れによつて北米全體を背後地として持つ港市としての役割をもつてゐる。

南半球 南半球のこの地方は濠洲南東部を除いては何れも開發が未だ進まず、南チリの如きは僅かに營まれる沿岸漁業を有するに過ぎない。ニュージーランド・タスマニアの西側は偏西風の影響を直接蒙り、未だ天然林を以て被はれてゐるが、東側は日照多く、農業條件が良好で、冷温性農業の他に羊・牛を主とする大規模の企業的牧畜が行はれる。羊毛・羊牛肉・酪製品等は何れも歐洲向輸出を目的としたが、農産物も島内に於ける食糧及び飼料の需要を充たす程度には達してゐる。濠洲の南東部はその中樞部である。沿岸地域は酪農地として榮え、また大牧羊地・大林業地で、各種工業の最も盛な所であると共に、人口の大部分の集中する所であつて、濠洲の主要都市は殆どこの地にある。

四 地中海性地方

西洋文化發祥の地

アリストテレスの有名な熱帯・温帯・寒帯の觀念は、地中海沿岸の地方を中心としたものであつて、自己の居住地であり、當時の西洋文化の中心であつたギリシアを温帯とし、その北方の寒帯は蠻人以外には寒冷で居住に適せず、南方の熱帯沙漠も文明人の居住には著過ぎる地とした。陽光に恵まれた地中海沿岸こそは、北阿・西亞の古代文化を吸引し、新文化の出發點たりし所で、その意味に於て西洋文化の搖籃地であり、また西洋世界の中心たりし所であつた。しかしイスパニアの衰頽以後、西洋文化の中樞地が北西歐の海洋性氣候の地に移つてから、その地の住民は自己の居住地を温帯と考へ、

南方の沙漠を熱帯とし、中間の地中海沿岸地方は亞熱帯なる概念で考へるやうになつた。故に今日に於ても西歐人は亞熱帯なる語を、高温・乾燥の夏と温暖・濕潤の冬によつて代表される地中海氣候を意味するものと考へてゐるほどである。しかるにその後、大陸の東岸にはこれと異なる特徴を持つ亞熱帯のあることが明かにされ、その結果、かかる特定の氣候を示すものとして亞熱帯なる語を用ひることは、もはや實狀に即さないやうになつたため、新たに地中海氣候の名稱が興へられるに至つたのである。

自然條件

世界に地中海氣候を呈する所は6ヶ所あり、地中海沿岸より中亞の山麓にかけての地方、米國太平洋沿岸地帯、アフリカ南端、濠洲南縁、ニュージーランドのオークランド半島、チリ中部はこれに當る。これらの地方は互に遠く離れてゐるが、單に氣候のみならず他の自然状態も極めて類似し、一地方に生育する植物・農産物は容易に他の地方に移し植ゑることができる。

氣候 地中海氣候は、沙漠の如く乾燥して晴天の續く暑い夏と、温暖で時折雨の降る冬とを特色とするが、最も著しい特徴は冬季多雨の點である。これを世界的に見ると、高温な夏季は同時に多雨季でもある所が多く、地中海性地方の如く、夏が乾燥季に當る所は他に類例が乏しいのである。

地中海性地方は大陸の西側に限つて發達し、且つ東側の亞熱帯地方に比して高緯度に位し、緯度 30° ～ 40° に互る。北に隣る海洋性西岸地方と南に隣る沙漠との漸移帯として、太陽の移動に基づく氣候圈の移動により、各半球の夏は沙漠の状態が支配し、冬は偏西風・温帯性低氣壓の影響下に置かれることが、かかる氣候を呈する主原

第7表 地中海性地方各地の気候表

地名	月	年												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
パース 海抜高度 91.0m 南緯 31°57'	気温	23.1	23.2	21.8	19.1	16.0	13.7	12.5	13.4	14.3	16.2	18.7	21.4	17.8
	降水量	8	4	15	36	113	172	178	146	97	60	16	8	533
	湿度	51	54	56	61	74	79	79	75	70	63	56	52	64
アタレイ 43.0m 南緯 34°56'	気温	23.3	23.4	21.0	17.7	14.4	11.9	10.9	12.2	13.9	16.6	19.4	21.7	17.2
	降水量	19	17	27	45	70	80	67	61	52	44	30	25	540
	湿度	43	48	54	56	72	77	79	70	70	59	47	53	61
サンフランシスコ 47.3m 北緯 38°42'	気温	9.8	11.7	12.8	13.4	13.7	14.8	14.9	15.2	16.6	16.2	13.9	10.5	13.6
	降水量	111	97	69	26	17	4	0	1	11	22	55	93	506
	湿度	84	82	81	80	83	85	89	90	85	82	81	81	84
サクラメント 51.9m 北緯 33°42'	気温	7.6	10.1	12.3	14.4	17.2	20.5	22.5	22.3	22.6	16.8	11.9	8.0	15.3
	降水量	97	74	76	41	20	2	0	0	5	23	53	102	493
	湿度	81	75	65	58	48	44	42	43	45	52	65	80	58
ロスアンジェルス 103.0m 北緯 34°3'	気温	13.4	13.9	14.9	15.7	16.8	19.0	21.3	21.6	20.7	19.0	11.2	14.3	17.3
	降水量	85	75	62	24	11	2	0	0	6	14	29	58	306
	湿度	64	72	73	78	83	84	84	84	79	72	59	58	74
サンチゴ 529.0m 南緯 33°37'	気温	19.6	18.9	16.6	13.4	10.3	7.8	7.8	9.0	11.2	13.4	16.1	18.7	13.6
	降水量	1	2	5	14	60	84	72	53	33	13	6	5	348
	湿度	56	60	66	72	79	81	81	79	73	70	60	58	70
ケープタウン 12.2m 南緯 33°56'	気温	21.1	21.3	19.9	17.7	15.4	13.6	12.8	13.6	14.3	16.6	18.5	19.9	17.1
	降水量	14	19	17	37	68	60	55	79	62	37	20	17	515
	湿度	67	72	77	82	83	84	83	82	80	74	68	67	77

パレルモ 71.3m 北緯 38°6'	気温	10.3	11.0	12.6	14.9	18.1	21.7	24.6	24.0	22.9	19.5	15.1	11.9	17.5
	降水量	104	84	60	61	32	18	8	14	37	98	95	125	745
	湿度	74	73	69	66	61	63	61	62	65	71	72	75	68
アテネ 107.1m 北緯 37°58'	気温	9.5	9.3	11.5	15.3	19.5	24.0	27.1	27.0	23.6	19.0	14.7	11.1	17.6
	降水量	53	41	30	20	22	16	2	4	16	42	65	70	381
	湿度	71	70	66	61	58	53	44	45	52	65	71	73	61

因である。

冬は気象の變化が激しいが、これは西方から来る低気圧に起因する。北半球に於てはまづ溫暖な東乃至南東風が吹き、雲が懸り、低気圧の中心が近づくと雨となり、中心が去ると冷涼な西乃至北西風となつて晴れ上る。最寒月の平均気温は7°乃至4°で、一年を通じて生育期間であり、雪や霜は稀であるが、それだけに豫期せざる霜はそれに敏感な早期蔬菜・柑橘類等の各種作物に被害を與へることが大きい。

夏の乾燥季には、低気圧はこの地方より高緯度の所を通過するから無関係であるが、南方からの熱風は意外の高温を齎すことがある。背後の山地には、夏も雲が懸り、降水も多いから、山麓に灌漑用水を導くことは容易である。この夏寡雨の氣候の限界は、冬の最多雨月の降水量が夏の最寡雨月の降水量の3倍に當る所を以てする。内陸の雨の蔭になつてゐる所は點在的に乾燥圏に屬する所がある。例へばイペリアの各内陸盆地、カリフォルニア谷の南部等はこれである。

西側の沿岸地帯は寒流に洗はれてゐるから、一般に濃霧地帯となり、これが夏の気温の上昇を妨げ、氣候を海洋性にする。例へばサンフランシスコに於ては、最暖月は遅れて9月に現れ、しかも平均

気温が 16.6° に昇るに過ぎないが、最寒月たる 1 月の平均気温はまた 9.8° に降るのみである。同様の事實はポルトガル沿岸・チリ中部の沿岸・濠洲南西岸に就ても等しく認めることができる。

土壌・植生 土壌の形成に與る風化・漂白作用は盛で、赤色乃至黄色土が卓越し、成熟土は肥沃でない。それで肥沃な農耕地は未成熟の沖積土の所か、または絶えず匍行等によつて上から新しい物質が供給されるやうな斜面に限られてゐる。

地中海性地方の森林は常緑・潤葉の硬木叢林で、天然林としては價値に乏しい。冬が温暖であり、夏の乾季も長くないから、植物の眠る時がない。新葉は雨季の始る秋に發芽し、開花は雨季の終る春である。また夏の乾燥に堪へ、蒸發を防ぐやうに光澤のある厚く硬い葉、厚い樹皮等を持つのを特色とする。オリーブ・コルク樅の如きはその代表的のものである。また有刺植物が多い點は、乾燥地方の植生と同様である。個々の木は大面積より水を得んとして密生することなく、離れ離れに存在し、根は地表に沿つて廣く擴がつてゐるのみならず、深く地中に入り込んでゐる。樹間の地には叢が生えてゐる。かかる所は山羊を飼育し得るのみで、樹皮と葉が飼料となる。

背後の山地は一般に濕潤で、山麓の農耕地に灌漑用水を供給するによく、マツ・スギ等が繁茂する。カリフォルニアの黄松・糖松、シリアの有名なレバノン杉等はこれで、高い利用價値を持つてゐる。

人間生活

一般的特徴 この地方の基本的産業たる農業がその氣候と密接に結びついてゐることは、熱帯や冷帯と同様に著しい。その特色とするところは、樹木農業と主穀農業との組合はせで、夏の乾燥を克服

する灌漑設備は古くから行はれてゐる。穀物としては小麦と大麦とを主とする。小麦は今日では世界的作物であるが、地中海沿岸の東部が原産地とされ、温暖な冬に生育し、春に收穫される。樹木農産物としてはレモン・オレンジ等の柑橘類・葡萄・無花果・スモモ・アンズ・オリーブ油等がある。小麦・大麦等は平地の作物であるが、その他は平坦地のみならず傾斜地にも栽培される。地中海沿岸地方では葡萄・レモン・オレンジ・オリーブ等の果樹園が階段状をなしてゐる所が多い。南カリフォルニアでは果樹園の多くは扇狀地上にある。

以上は各大陸に分れてゐる地中海性地方に共通的特徴であるが、それらの間には歴史的背景や地理的位置、その他の要素を反映して相當の相違が認められる。但しなほ共通點を挙げるならば、各地方共例外なく西洋文化によつて培はれて來たといふことである。

地中海沿岸 地中海沿岸の地帯はこの氣候によつて代表される地域の中で面積が最も大きい所で、地中海沿岸から黒海沿岸を経て中亞の山麓地帯にまで延びてゐる。他の地中海性地方と異るところは、古代文化の發祥地に近く、それを繼承して今日の西洋文化の根柢を培ひ、世界文化の中心の一をなしてゐた所であること（例へば古代ギリシア・ローマ・ムア帝國・文藝復興期のイタリア等）、地中海といふ交通上の便益の多い内海の兩岸に跨つてゐること、背後には北西歐の文化地域を控へ、更に北西歐を東亞に連結する幹線に當つてゐること（昔の香料路、今次世界大戦までの英帝國線等）、以上の諸事實を反映して古い都市・史蹟に富むこと等である。その東部が小麦の原産地と考へられてゐることは、西洋を代表するこの穀物が、西洋文化の世界的發展と共に、世界的穀物となつたといふ事實と併せ考へて興味深い。

Approved by Ministry of Education
(Date Oct.11, 1946)

昭和廿一年十月十一日印刷
昭和廿一年十月十五日發行
昭和廿一年十月十六日剗刷印刷
昭和廿一年十一月十八日剗刷發行
(昭和廿一年十月十六日 文部省検査済)

師範地理 本科用 卷一

定價金壹圓

著作權所有 著者 文 部 省
發行者

東京都神田區錦町一丁目十六番地

剗刷發行所 師範學校教科書株式會社

代表者 森下松衛

東京都牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 大日本印刷株式會社

代表者 佐久間長吉郎

東京都神田區錦町一丁目十六番地

發行所 師範學校教科書株式會社